

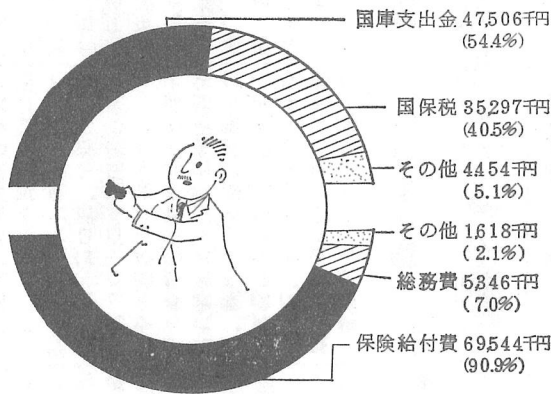
才 出

才出については、総額四億四千二百五十四万四千円であり、その主なものは教育費一億九千九百九十九万九千九百九十九円（構成比二十三パーセント）、次いで農林水産業費八千三百三十五万八千円（十八・九パーセント）、土木費七千七百二十八万九千円（十七・五パーセント）の順となっております。以上のことから重点施策の道路整備を中心に、教育施設の充実、産業の振興、住民福祉の向上を軸とした四本の柱を積極的に執行したことが現われております。一方好景気に反映して諸物価の高騰と相まって人件費の増高は一層自主財源の乏しい町の財政を窮屈にしているのも現状です。

- △青年館建設事業 一、〇二八千円
 - △消防施設整備事業 二、八〇〇千円
 - △観光施設整備事業 一、四一六千円
 - △その他施設整備事業 七五六千円
 - △その他施設整備事業 七、一九七千円
- 町債について**
- 昭和四十四年度末現在の借入金は一億四千七百七十四万九千円で内訳は次のとおりです。
- △義務教育施設整備事業債 五七、九二二千円
 - △一般単独事業債 四六、六九二千円
 - △公害住宅建設事業債 六、九六〇千円
 - △災害復旧債 一、一七八千円
 - △厚生福祉施設整備事業債 七、九〇〇千円
 - △市町村減税補てん債 五、八九七千円
 - △都道府県貸付金 一五、二〇〇千円
 - 計 一四一、七四九千円
- 二、特別会計について**
- 国民健康保険特別会計に於いては、受診率の上昇による療養費の増高から相変らず大きな伸びがみられます。有線放送電話特別会計、老人ホーム特別会計については経常費的収支決算となっております。（四四～六四）

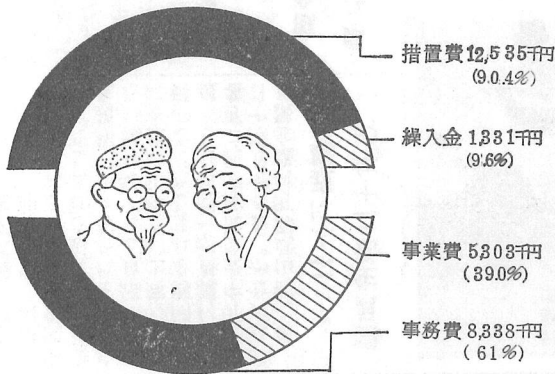
国民健康保険特別会計

歳入決算高 87,257千円
 歳出決算高 76,508千円
 差引残高 10,749千円



老人ホーム特別会計

歳入決算高 18,866千円
 歳出決算高 18,641千円
 差引残高 225千円



有線放送電話特別会計

歳入決算高 14,041千円
 歳出決算高 12,435千円
 差引残高 1,606千円

